



もり た まさ ひろ  
森田 真裕さん

みなみ地区在住。妻の加奈さんが達生くんを妊娠中に、開成町に引っ越しを決めた。

ママにも聞きました

Voice



かな  
加奈さん

家族で過ごす時間が増えたことで、夫と子どもの距離がさらに近づいたようです。私が仕事復帰したら、夫と子どもで一日過ごすことになりませんが、子どもとの時間を夫の姿を見て安心してます。

子どもと一緒に過ごす楽しみ  
来年4月に妻が仕事復帰する予

呂や寝かしつけも私がするようになりました。今では、「パパ！パパ！」と寄ってきてくれて、愛しい気持ちがさらに増えました。

現在は、出勤もしていますが、以前よりも早く帰るように意識しています。コロナ禍で世の中が様変わりし、困ったことや不便なことも増えましたが、私にとっては、ワークライフバランスを見直すいい機会になりました。



令和パパ

# 森田家の場合

令和時代のパパたちは、子育てに対してどのような思いを持っているのでしょうか。1歳2か月になる達生くんのパパ、真裕さんにお話を聞きました。

定です。妻は、土曜日の勤務もあるため、私が丸一日、子どもと過ごすことになりました。大変なこともあるかもしれませんが、今は子どもとどんなことをして過ごそうか楽しみに思う気持ちが大きいです。

もともと、開成町での子育てをイメージして引っ越しを決めたので、近所の公園にお散歩に出かけたり、子育て支援センターで開催されている「ばば☆ひろば」で遊んだり、開成町での子育てを楽しみたいと思います。



▲真裕さんが達生くんと遊んでいるうちに、加奈さんはゆっくり料理

もっと子どもと関わりたい！  
だけども…

普段から夫婦で協力して家事を行っていますが、育児に関しては、妻が育児休業中ということもあり、妻メインとなっていました。私自身、もっと子どもと関わりたいという気持ちにはありましたが、通勤時間が往復4時間になることもあり、時間的な制約や独身時代の働き方が抜けきらず、「ワーク」に偏っていて、ワークライフバランスがとれていませんでした。

コロナを契機に

コロナ禍により約2か月間、仕事が生計の中心になり、生活が一変しました。通勤時間が無くなった分、子どもと一緒にいられるので、お風

What's?!

ワーク・ライフ・バランス

仕事と育児や趣味、休養、地域活動などの仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。



次のページへGo!



町には、森田さんたちのようなパパやママをサポートするいろいろな取り組みがあるよ。次のページを見てみよう!